

# 議 員 発 議

# 追跡 ありやあどどうなった?

1年前の主要事業が、今はどうなっているのか?追跡しました!



捕獲されたイノシシ

平成16年度	132頭
平成17年度	196頭
平成18年度	205頭
平成19年度	296頭
平成20年度	341頭
平成21年度9月末現在	315頭

参考:イノシシの捕獲状況(過去5年間)

## 鳥獣被害対策に対策実施隊を設置 平成20年9月議会で決定

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止を行い農林水産業の発展及び農山漁村地域の振興に寄与するために、平成20年2月「鳥獣被害防止特措法」が施行されました。町はその基本方針に即した被害

防止計画を作成し、必要な措置を講じました。「神石高原町鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例」を制定し、鳥獣被害対策実施隊を設けました。

## 平成21年度 90名で被害対策実施隊を編成 捕獲数が大幅に向上

隊員は一般の狩猟者に比べて狩猟を行う機会が制限されることから、非常勤の公務員として狩猟税の軽減措置等が講じられました。今年度は90名で被害対策実施隊を編成し、イノシシは9月末現在315頭を捕獲しています。

高齢化等により狩猟免許所持者は年々減少しているため、今年度から新たに町単独で狩猟免許取得経費助成をしています。狩猟免許の取得を検討してみたいかがでしょうか。

## 神石高原町議会傍聴規則の一部改正

●開かれた議会にすため、傍聴人が、本会議に加え、全員協議会なども、より簡単な手続きで、傍聴できるように簡素化されました。

提案者:藤田晃己議員  
賛成者:小林 貢議員



議員研修会

- 傍聴人の定数がなくなり、傍聴の手続きが住所、氏名、年齢を傍聴人受付簿に記入するだけで入場でき、傍聴券の交付がなくなりました。
- 但し、議長の命に、従わないときは退場となります。

議会傍聴規則を簡素化しました

## ●教育予算の拡充を求める意見書

提案者:松本彰夫議員  
賛成者:小林 貢議員

子どもたちに豊かな教育をすることは極めて重要だ。日本の教育予算はOECDに比べると脆弱である。自治体間の教育条件の格差によって子供たちが受ける「教育水準」に格差があってはならない。

記

- 一、義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画を実施すること。

- 二、義務教育費国庫負担制度を二分の一に還元し、制度を堅持すること。
- 三、教育予算の拡充のため、国の予算を拡充すること。
- 四、教職員給与の財源を確保・充実すること。超過勤務の縮減対策を行うこと。

国や県に意見書を提出しました

## ●「県立高等学校再編計画」の慎重な取り組みを求める意見書

提案者:小林 貢議員  
賛成者:松本彰夫議員

記

地域から県立高等学校がなくなれば保護者や生徒たちの時間的・経済的・肉体的な負担が増す。また、地域とともに歩み、地域の担い手をはぐくんできた県立高等学校の統廃合・分校化を一律に進めることは地域の疲弊につながる。

- 一、「県立高等学校再編整備計画」の推進に当たっては、保護者、教職員、地域住民の意見を十分聞く場を設定し、合意のもとに進めること。

## ●安心社会実現のため平成22年度予算の確保を求める意見書

提案者:寄定 秀幸議員  
賛成者:木野山孝志議員

平成22年度予算については、社会保障の機能強化、経済危機克服のための予算確保が重要だ。

記

- 一、高齢者医療制度の見直し、少子化対策の抜本的拡充、高額医療費制度の見直しなど、安心社会実現のために必要な予算を確保すること。

女性特有のがん検診、難病対策などは継続して実施できるように

- 二、雇用対策や低所得者の教育費負担軽減などセーフティネットの拡充に重点配分すること。
- 三、緑の経済と社会の変革の実現に向け重点配分すること。
- 四、ゲリラ豪雨など、大規模災害の発生に対する災害対策に万全を期すこと。

## お詫び

みんなの町議会19号3ページ「平成20年度第3セクター販売高」の中で、(株)神石高原公社の当期損益欄は△98万円ではなく98万円でした。

訂正し、お詫び申し上げます。

## 第2回 議会クイズ 解答

- ① 998
- ② 三
- ③ 危機
- ④ 産直
- ⑤ ながの

ご応募頂きありがとうございます。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りします。

## 第2回クイズ当選者

- 豊松地区 池田 松子さん
  - 三和地区 川崎 博文さん
  - 三和地区 山本 澄子さん
  - 油木地区 平元 二重さん
  - 油木地区 田邊 政子さん
- (順不同)

# クイズの解答とともに寄せられた「まちの声」

○山間へき地に住んでいると県道・町道の支障木が大変気になります。現在はどうにか通行できていますが、早めに手を打って伐採など、枯木・枯松などの処置をしておかないと通行不能の道がでてくると心配しています。(男性75歳)

○要望、若い人が住んでよい町にできるだけしてほしい。(女性72歳)

○経済対策&エコが叫ばれる今日、多くの公報が配られてきます。今日もその中で唯一一面使用されていない「○○○」がありまして。(女性53歳)

内容とはともかく、一人一人の自覚が今の時代必要とされているのではないのでしょうか。もう少し町政もしくは個人として危機感を持ってやって頂きたいです。(女性53歳)

○来る7月27日夜神石支部女性会は議員さんを囲む会を持ちます。どんな話が聞けるかたのしみです。(女性65歳)

○保険税・住民税などの減税、地方財政の充実、環境整備、情報化の推進など検討され、益々の活躍を心から期待いたします。(女性59歳)

○あちらの谷を見ても、こちらを見ても若者が少ない。子供がいない、ほんとに淋しい事、何年か先には空家がだんだん多くなっていくのではないかと、手仕事しながら若い短い年寄りの独り言。(女性93歳)

○集落支援員制度について 優秀な支援員さんが熱心に活動されていますが、時期を失っていますか。「源流の里」維持再生どころか「限界集落」が次から次へと発生、いや発生しようとしておりませんか。なぜ、もう少し早くこの事業を取り入れなかったのですか。(男性83歳)

○自分は交通の便が良い場所に住んでいますが、そうでない方、ふれあいタクシーを利用する人が、90歳過ぎて500メートル歩くのが大変。途中だったら乗せてもらう融通がほしいとか。(女性68歳)